

各専門委員会セミナー開催のご案内

CT セミナー

(CT 専門委員会)

本委員会では、2018年の第74回春季大会CTセミナーにおいて、「新人に聞いてほしい！見逃してはいけない〇〇〇」と題して脳神経外科領域における、見逃してはいけない画像所見についてセミナーを開催しました。脳卒中においてCT検査は欠かせない検査の一つとなります。脳神経外科領域でセミナーを開催してから4年半が経ち、知識のアップデートが必要な時期と思われまます。本セミナーの内容は、脳の解剖や脳卒中の概要といった基礎を始め、脳卒中における画像所見・撮影の工夫・診断の一助となる+αの画像・治療の補助のための画像について解説していきます。若い技師さんを対象とした、盛りだくさんな内容となっておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

日 時：2022年11月13日(日曜日) 9:00~10:00

場 所：札幌医科大学附属病院(1F 講堂)(Hybrid開催)

テーマ：『1歩踏み出す脳卒中』

座 長：津元 崇弘 (JA北海道厚生連 網走厚生病院)

演 者：谷越 哲也 (華岡青洲記念病院), 西山 哲司 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)

アンギオセミナー

(アンギオ専門委員会)

2021年10月から診療放射線技師法の一部が改正となり、血管撮影の分野では「動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く)、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為」が追加されました。さらに厚労省の通達では「血管造影・画像下治療(IVR)における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作」も推進するものとして表記されました。それに伴う告示研修では、清潔野に入るためにガウンや手袋の装着、清潔野内でのカテーテルやガイドワイヤーの扱いなどが研修内容として含まれています。また、既に告示研修を受講された方では、このような行為自体を初めて経験し、戸惑ったという方も多いかと思ひます。

そこで、本セミナーでは、循環器科と放射線科の分野で以前より診療放射線技師が清潔野の業務を行っている2施設から、清潔野の業務の実際と診療放射線技師が清潔野の業務に入るメリットなどを紹介します。

普段、あまり見たり、触れたりする機会のない内容だと思ひます。告示研修で清潔野の業務に興味を持った方や、アンギオ担当の方など、多数の皆様の参加をお待ちしております。

日 時：2022年11月13日(日曜日) 12:50~13:50

場 所：札幌医科大学附属病院(2F 臨床第一講義室)(Hybrid開催)

テーマ：『清潔野業務の実際～北海道循環器病院・手稲溪仁会病院』

座 長：三ツ井貴博 (市立旭川病院)

演 者：北 裕一 (北海道循環器病院)

大溝 翼 (手稲溪仁会病院)

整形外科セミナー

(整形外科専門委員会)

この度は、全脊椎撮影をテーマに整形外科専門委員会セミナーを行います。

日頃の業務において、全脊椎を撮影する機会は多々あるかと思われます。その目的は様々ではありますが、主に側弯症に用いられることが多いと思われます。今回は側弯症を中心とし、撮影した画像がどのように臨床に用いられているか、撮影時の注意点、ちょっとしたテクニック等、このセミナーを通じ皆様と共有できれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2022年11月13日(日曜日) 12:50~13:50

場 所：札幌医科大学附属病院（1F 講堂）(Hybrid 開催)

テーマ：『全脊椎撮影について』

座 長：竹内みつお（医療社団 耀仁会長沼整形外科・リハビリテーション科）

演 者：荒石 直哉（公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院）

山口 大樹（医療法人社団元氣会 札幌整形外科）

MR セミナー

(MR 専門委員会)

「ポジショニングに苦慮する」、「適切な撮像断面がわからない」など、肩関節 MRI の検査に対しては苦手意識を持っている方が多いかもしれない。肩関節疾患は、診察による理学的所見および超音波検査によって、その多くを診断可能である。したがって、診断がほとんど確定した肩関節疾患に対して、上記では得られないさらなる臨床的情報を追加するところに MRI の重要な役割が存在する。

今回のセミナーは、臨床に即して、疾患の解説を出発点とし、疾患に関連する解剖を確認しながら、「肩関節の病変をわかりやすく描出し、かつ臨床的に有用な追加情報を付与する撮像方法」を提案する。セミナー参加者が肩関節 MRI に対して“得意”意識を持てるようになることを目標としたい。

(想定対象レベル：初～上級者)

日 時：2022年11月13日(日曜日) 14:50~15:50

場 所：札幌医科大学附属病院（1F 講堂）(Hybrid 開催)

テーマ：『肩関節 MRI 再考』

座 長：長濱 宏史（札幌医科大学）

演 者：今村 壘（札幌医科大学附属病院）

計測防護セミナー

(計測防護専門委員会)

近年、診断参考レベル (DRLs) による患者の被ばく線量低減や医療法での線量管理・線量記録の義務化など、患者の医療被ばくへの関心が高まりつつあります。前回の計測防護セミナーでは、実測による患者被ばく線量推定にシンチレーション光ファイバー (SOF) 線量計が有用であるとの報告をさせていただきました。本セミナーでは続報として、現在開発が進められている多チャンネル型 MIDSOF の紹介を行うとともに、いくつかの測定例を紹介させていただきたいと思っております。多くの皆様に参加していただき、活発な議論をしていただけると幸いです。

日 時：2022 年 11 月 13 日 (日曜日) 9:00~10:00

場 所：札幌医科大学附属病院 (2F 臨床第一講義室) (Hybrid 開催)

テーマ：『実測による患者被ばくの推定と多チャンネル型 MIDSOF の開発について』

座 長：吉井 勇治 (北海道大学)

演 者：松本 健太 (旭川医科大学病院)

大島 貴仁 (苫小牧市立病院)

石川 正純 (北海道大学)

デジタル画像セミナー

(デジタル画像専門委員会)

今年4月の第78回春季大会において、「一般撮影 物理評価初心者講座～基礎的事項を中心に～」と題してセミナーを開催いたしました。また今年度は本部画像部会主催の第23回DRセミナーを10月に開催する予定です。それらの内容の復習の意味合いを含め、改めてデジタルX線画像システムにおける物理評価をテーマとして取り上げます。検出器の入出力特性、解像特性、ノイズ特性、そしてこれらを総合した指標であるDQE、NEQについて学んでいただきます。

撮影目的に応じた画質を検討する場合には、その基本となる画質に影響を及ぼす様々な因子を考慮する必要があります。各物理特性の計測方法を理解することは、撮影条件の検討や低減を行う上で非常に重要です。デジタル画像の物理特性の意義や実際にデータを取得する際の注意点などに関して、有益な情報を得て頂ければ幸いです。多くの皆さまのご参加を心待ちにしております。

日 時：2022 年 11 月 13 日 (日曜日) 10:00~11:00

場 所：札幌医科大学附属病院 (2F 臨床第一講義室) (Hybrid 開催)

テーマ：『やってみよう!! 一般撮影の物理評価』

座 長：武石 英樹 (王子総合病院)

演 者：千葉 浩樹 (帯広厚生病院)

核医学セミナー

(核医学専門委員会)

心筋血流 SPECT 検査は、核医学検査の中でも多くの施設で実施されているが、施設による撮像条件の違いや画質の違いが指摘されていた。そのため、学会が主導となり撮像のためのガイドラインが策定され、各施設はそのガイドラインをもとに撮像プロトコルの見直しを進めている。

一方で、撮像の条件変更による画質の変化は収集機器によって大きくことなるため、機器の特性や心筋血流画像に求められる必要条件を再度確認することが重要となってくる。

今回のセミナーでは、心筋血流 SPECT 画像の基礎について理解を深めていただくとともに、ガイドラインのおさえるべきポイントについて解説を行う。

日 時：2022 年 11 月 13 日(日曜日) 10:50~11:50

場 所：札幌医科大学附属病院（1F 講堂）(Hybrid 開催)

テーマ：『心筋血流 SPECT の基礎と標準化』

座 長：安藤 彰（北海道大野記念病院）、宗像 大和（北海道大学病院）

演者 1：前田 佑介（北海道大学病院）

演者 2：菊池 明泰（北海道科学大学）

消化管 & 超音波セミナー

(消化管 & 超音波専門委員会)

超音波検査による診断法は、2D モードにて「形態を見る」、ドプラ法を使用して「血流を見る」この2つを中心に画像診断に寄与してきましたが、ついに組織の硬さを画像化および定量化することが可能となり「新しいステージ」へと突入しました。

今回は超音波画像診断装置に搭載されている Shear Wave Elastography (SWE) を用いた肝線維化診断についてお話をさせていただきます。肝生検を何回も繰り返して行うのは、実際にはなかなか難しいことであり、繰り返し実施できる超音波による肝硬度測定は、変化を見るという点で非常に重要だと考えられています。この新しい技術を詳しく紹介し、実際の手法について簡単に解説していきます。

初学者、専門家の方、また門外漢の方まで楽しめるセミナーにしたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

日 時：2022 年 11 月 13 日(日曜日) 14:40~15:10

場 所：札幌医科大学附属病院（2F 臨床第一講義室）(Hybrid 開催)

テーマ：『硬さを診る—超音波による硬さの検出—』

座 長：中村 俊一（JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院）

演 者：北口 一也（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院）

放射線治療セミナー

(放射線治療専門委員会)

放射線治療では、事前に撮影したCT画像などを用いて放射線治療計画が立案され、その治療計画にもとづいて患者さんの解剖学的情報を治療寝台上で可能な限り再現させることが重要となります。

昨年の放射線治療セミナーでは、固定具作成についてお話しました。今回は、毎回の放射線治療における標的や臓器の位置再現性を高く保つために、放射線治療計画時からどのような工夫がされているのか、3施設における前処置や患者コーチング、その他患者さんに協力していただいていることを解説いたします。

皆様の日々の業務に役立てることができる内容にしたいと思っておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

日 時：2022年11月13日(日曜日) 15:10~16:10

場 所：札幌医科大学附属病院（2F 臨床第一講義室）(Hybrid開催)

テーマ：『前処置・患者コーチング』

座 長：阿部 匡史（日本医療大学）

演 者：佐藤 慧（市立札幌病院）『前立腺 IMRT』

村山 祐輝（北海道がんセンター）『脊椎定位放射線治療』

田村 弘詞（北海道大学病院）『呼吸性移動対策』